

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	そよ風としての基本理念と共に、独自に「目かせ耳かせ 手口いらず 笑みをもたらす心のケア 第一」を具体的な理念として、利用者や家族の想いを傾聴し、その人らしい生活を支援している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時に理念を唱和し、理念に添った介護の姿勢作りに取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの説明会や毎月の便り等で、地域や家族の方々にホームでの様子を、理念と共に理解して頂けるよう努力している。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	季節ごとに収穫された野菜を頂いたり、畑での収穫体験、散歩や近所のスーパーへの買い物等で、地域の方々との交流を図っている。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム周辺の草取り、ボランティアの方によるヨガ教室、地域の学生の受け入れ、演芸会への参加等で、地元の人々との交流に努めている。	○ 地域の公民館行事や朝市等に外出出来るよう、行政等で予定を把握し、取り組んでいきたい。

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者への支援にとどまらず、近隣での役割作りを課題とし、話し合っ行ってきたい。地元中学生の職場体験の受け入れを実施しており、8/22事業所の夏祭りも計画、地域の高齢者の方々も招待し、交流の場を提供する予定である。	○	ホーム周辺のゴミ拾いや、地域の方に参加していただける行事を計画し、実施して行きたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	そよ風として新規オープンして10ヵ月が経過、自己評価・外部評価を実施することで「初心を忘れず！」を合言葉に、より一層利用者に寄り添うことが出来るよう、ミーティング・緊急ミーティングの場を設けている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	老人会・園芸福祉士等の方々に参加していただき、外部からの率直な意見や家族の想いを真摯に受け止め、ミーティングを通してサービス向上に反映させている。		
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員派遣を申し込んだことで、1回/1ヵ月相談員2名の派遣を受け、フロア・散歩等での関わりで利用者の生の声を傾聴していただき、その声をサービスに反映させるよう心がけている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	キーパーソンと本人の関係を理解するよう努め、権利擁護に関する制度の必要になった方には制度を活用出来るよう支援している。		
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングで虐待に関する勉強会を実施、全ての職員が意識し、日常的な見過ごされがちな小さな行為に対しても、徹底して防止に努めている。	○	言葉による暴力を利用者のご家族から指摘を受け、緊急ミーティング開催し、ホームのあり方や職員がなすべき事を話し合い、ご家族にも報告、今後の改善を約束させていただいた。今後、徹底的に排除・防止に努める。

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に説明し、細かい疑問点等にも対応、契約締結・解約当日は、今後のことへの不安に配慮し、具体的な説明を行なっている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者のフロアでの言葉や直接的な訴えを傾聴し、実施に向けての支援や、ケアプランの課題に挙げた支援に反映させることが、ひいてはホームの運営への反映につながっている。行政から派遣される介護相談員の来訪も、利用者の想いの代弁者となっている。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	郵送による月1回の便りや家族の来訪時に、利用者の暮らしぶり・健康状態・金銭出納状態等個別に報告している。来訪時には、ホームへの要望・個々への想い・必要な物品の購入希望を聞き、多様な要望に答えるよう努力している。	
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や来訪時には、必ず意見・苦情・要望等を伺い、ミーティングや明文化により職員に確実な情報伝達をし、業務に反映させている。その取り組みを来訪時に報告している。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	柔軟な姿勢で職員の意見や提案を聞くよう努めており、親しみやすく、働きやすい職場作りをしている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常時利用者や家族の状況に重点を置き、緊急時にも就労の時間帯を調節し、職員確保に努めている。	

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ケアセンター内での異動が生じた時は、可能な限り訪問し交流に努め、離職の場合は、休職であると説明することで、不安や淋しき等の軽減に配慮している。新規採用者の場合は、業務より利用者との関わりや状態把握を優先させ、利用者へのダメージを防止している。</p>		
<p><b>5. 人材の育成と支援</b></p>			
<p>19 ○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部からの講演会や講習会の広報紙を回覧することで、ステップアップへの啓発に努めている。実際に積極的に研修等に参加する職員が増えている。</p>		
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者主催の勉強会や救急講習・認知症サポーター講習等に参加することで交流を持ち、訪問等につなげ、より良いサービスを提供するため他施設の良い面を吸収するよう努めている。</p>		
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>フロアの流に合わせた休憩時間の確保や、管理者や職員との個々の面談で仕事に対する想いやストレスの傾聴に努め、働きやすい職場作りに取り組んでいる。</p>		
<p>22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>正社員に対しては人事考課、契約社員に対しては正社員への登用等により各自の向上心につながるよう配慮している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所に関わる面接時には、本人が今何を希望しているか、何に不安を感じているか等本人の意思を尊重しながら傾聴し、場合に応じて回を重ね面会を行なうようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談受付票記入時から家族が抱えている問題を傾聴することで想いを共有し、入居までの来訪時や電話にて丁寧に相談を受け付けている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点で居室の空きがない場合は、多様なケースがあることを説明し、他施設への申し込みや他サービスの紹介等の相談を受けている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	センター内デイサービス・ショートステイ利用の方が入所となる場合は、随時ホームに来訪していただいたり、職員が訪問して徐々に新しい環境に馴染めるよう配慮している。反対に、ホームが満床のためショートステイを利用する方に対しても同じように配慮している。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	視線を同じにし、常に利用者の想いを尊重することで「お互い様」という言葉を利用者からもいただけており、レクリエーション・役作りだけでなく、お互いに生活を共有する関係作りをしている。	

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族来訪時は、本人の近況・体調等を説明し、家族の想いに共感の姿勢で接し、園芸レク等での共同作業の機会を設けたり、日常的な憩いの場としてのホームを目標に努力している。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人には家族の、家族には本人の様子を伝えることで安心感を提供、本人にも家族・職員みんなで支援していることを説明している。希望に応じ、電話等での連絡も提供している。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族のみでなく知人や親戚の面会や外出時の支援、近隣へのミニ外出や買い物の機会を設けている。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の交流時は必ず見守り、必要に応じて介入したり、個々の自由な時間を過ごしている方に対しては声掛けをし、常に配慮している。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された利用者が新規に利用している施設を訪問したり、その家族からの来訪も受けており、気軽に立ち寄ることの出来る地域のホームでありたいと努力している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	全ての利用者に対して同じことを促すのではなく、個々の想いを尊重し、自由な流れになるよう努めている。本人の意向に添えない時でも、納得のいくよう説明し、時には家族の協力もいただいている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントによるものに加え、家族や本人との会話や行動の中で把握出来た利用者の歴史を随時アセスメント表に記して、全ての職員で共有している。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の小さな変化も見逃すことなく、日中帯・夜間帯の口頭による申し送りと共に業務日誌・申し送りノートで明文化することで、全職員が確認、情報の共有化を図っている。、その中でもADL低下の事項についてはその都度改善策を話し合っている。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人や家族による課題の提供や、月2回の主治医による往診や調剤薬局の薬剤師により専門的な視点を得ることが出来、その情報を参考にしながら、家族との連携・協力もケアプランに盛り込んで作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回の定期的なカンファレンスや、サービス計画実施期間終了前・状態の変化時には見直しを実施し、記録に残している。必要な場合は本人・家族に説明し、状況に即応したケアプランを作成するよう努めている。	

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録では、利用者の生き活きとした会話を重視し、その方の人となりを知る方法としている。ケアプランを「項目」として具体的に挙げ、日々の記録に残すことで介護計画の見直しに活かすようにしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の特変による受診や、本人の希望による散髪・買い物等、家族の対応が困難な場合は、家族との連絡の上職員が通院介助をし、訪問理美容や外出介助にて支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	老人会、園芸福祉士、ヨガ講師、音楽療法士、地元中学生等ボランティアとの協力による支援、避難訓練や市からの介護相談員派遣等により可能な限り協力体制を取りながら支援している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入退院時の状況に応じてソーシャルワーカーや他のサービス事業者との連携を取りながら、本人や家族にとって最良の支援を提供出来るよう努めている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人・家族の必要性に応じて地域包括支援センターと連絡を取り合い、入所につなげている。		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>施設からの住み替えの場合は、情報交換により居室の位置を同じにするよう配慮し、自宅からの場合は、居室内配置は本人・家族の希望を取り入れ、環境の変化による本人の負担を軽減するよう努めている。</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日常生活や外出等においては、強制することなく本人の意志を尊重し、日中・食後等居室での休息も自己にて行っている。日誌・個人記録等の個人情報は、全て事務室にて保管している。</p>		
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>役割作り・レクリエーション・散歩に至るまで必ず声掛けをし、本人の意思決定を促しており、失認・失行等がある時は、個々に説明し、利用者の人格に配慮している。</p>		
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れはおおよそ決まっているが、利用者の流れを基本に時間配分している。眠気を訴える方には本人に確認後居室やソファで休んでいただいたり、気の合う利用者同士廊下の椅子で談話を楽しんでもらったりと、本人の思いを優先して対応している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>散歩・外出は季節に合った服装に配慮し、帽子等希望する利用者には、金額に応じ随時家族に相談しながら買い物支援をしている。理美容は、希望によりホームでの訪問カットが可能で、又家族の協力を得て行き付けの美容院利用や家族による散髪等本人の選択を支援している。</p>		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>ホームでの生活にも慣れ、利用者同士の交流も可能になったことから、以前実施していた買い物ツアー等計画して行きたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームで金銭管理を行っている状態だが、外出時には自分で支払っていただくことでの自信や社会参加の意義を理解しており、個々の能力に応じて支援している。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎朝の散歩、買い物、喫茶、近所の野菜の収穫等に関わることが出来るよう、個々の声を聞きながら希望に合わせ支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出行事の計画は、家族への毎月のお便りや家族の来訪時に説明することで気軽に参加して頂けるよう働きかけをしながら、毎月外出を計画し、実施している。又、日常の会話から本人の行きたい所を把握し、家族に相談、計画をし実行出来るよう支援している。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じ家族への電話を支援し、家族からの電話も本人が直接会話出来るよう配慮している。その都度、家族と共に本人にとって最善の方法で対応している。	○	レクを兼ねた絵手紙等で家族との交流が出来るよう、本人の意志を尊重しながら計画して行きたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室でゆっくりされたり、居間で他の利用者を変えての時間を過ごされたりと、本人や家族等に任せている。ホーム内のレクリエーションや誕生会・ヨガ教室への参加もあり、気軽に訪問出来、居心地のよい雰囲気を提供している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員で身体拘束についての勉強会を行い、全ての職員が身体拘束についての意識付けをし、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族の来訪時、身体・精神状況を説明し、主治医からの助言や今後起こり得るリスクについて情報を提供し、利用者の想いを大切にしながら「何を優先するのか」を共に話し合っている。緊急を要する場合は、電話にて連絡し、対応している。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝食後・昼食後のバイタルチェックを施行、スキンケアと並行して利用者の状態観察をし、変化があった時は再検し個人記録に記録、特変時の受診・対応に結び付けている。朝・夕の申し送りですべて職員で情報を共有している。		
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医による処方箋に必ず目を通して理解をし、服薬時は服薬チェック表への記入で服薬の状況の把握・誤薬の防止を徹底している。薬セットは早番・夜勤者で二重チェックをし、事故防止に努めている。常に症状の変化を観察・記録し、主治医に報告している。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や認知症高齢者に及ぼす影響を理解しており、乳製品・繊維質の食材の提供や散歩・レクリエーション等適度な運動への参加、排泄パターンの把握・トイレ誘導等の対応をしている。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアへの促し・誘導・観察を行い、必要に応じて見守りや義歯洗浄等支援している。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分量のチェックを徹底しており、残量があった場合は、必ず体調確認後補助食等で対応している。持病や義歯装着具合に配慮し、軟飯や刻み食等形状を変えて提供している。飲み物は、嗜好に合わせ、温度調節・甘味・種類と柔軟に対応している。		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外出後・食事前・おやつ前には手洗いを行い、食事前には手指消毒を徹底している。感染症対策マニュアルを作成し、全職員周知の上、予防や対応をしている。ミーティング時にも勉強会を行っている。		
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理時は清潔・迅速・加熱及び冷却で対応し、調理器具の清潔さや布巾等は漂白剤使用し殺菌し、シンク内も常時清潔に努めている。毎日食材を購入、新鮮で安全な物を使用し、冷蔵庫内の消毒（夜間）も徹底して施行している。職員は、毎月1回（夏場は2回）の検便も行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にはプランターで花を飾り、園芸福祉士と利用者によるペットボトル利用の季節の鉢植えもあり、来訪者や利用者の会話も弾む。毎日の水やりも利用者と職員が協働しており、玄関に置いてあるベンチは休憩の場となっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全性を考慮しながら、利用者の意見や様子に配慮した光や音の調節をしている。手作りののれんや写真等の貼ってあるボード、廊下にある椅子やソファ等で生活感を、壁面や玄関の飾り、玄関・中庭の花で季節感を味わえるよう配慮している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下、玄関、中庭に椅子・ベンチを配置し、利用者が個々で、又利用者同士で、自由な時間を自由な場所で過ごせるよう配慮している。		

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 土岐ケアセンターそよ風 (1F)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

恵まれた環境を生かし、土岐川・周囲の山々・田畑等自然に触れながらの散歩や喫茶店への外出、スーパーでの買い物も徒歩でも可能な範囲内で、どんな場面でも地域との交流を考え、認知症高齢者も普通の生活が送れていることを発信しながら、地域の中に溶け込んで生活していただけるよう取り組んでいる。季節の農作物も近所から提供いただいたり、利用者で収穫させていただいており、ご家族も気軽に来訪され、自宅で収穫された野菜・米を持って来て下さる場面もある。

又、ケアセンターの利点でもあるセンター内の利用者の交流も図っており、ボランティアによる演芸会・演奏会・ヨガ教室等合同で楽しいひと時を送っていただいている。毎日、一人でも多くの笑顔が引き出せるよう全職員がチームワークを築き実践し、利用者の声や真の想いを傾聴しながら「自分や親が入所したいホーム」を目標に一歩ずつ前進している。